

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書をを中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っているると便利な図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 ①著書 ②出版社 ③刊行年月 ④ISBN ⑤ページ数 ⑥定価 ⑦その他

いろいろな利用者の使いやすさを考えた初級教科書

『みんなの日本語 初級 I』



データ

①スリーエーネットワーク②スリーエーネットワーク (〒101 0064 東京都千代田区猿楽町2 6 3 松栄ビル / TEL .03 3292 5751 FAX .03 3292 6195) ③1998年3月16日④4 88319 102 8⑤244ページ⑥2 625円⑦翻訳・文法解説英語版 2,100円 カセットテープ(4巻) 6,300円

教材の対象者と構成

『みんなの日本語 初級 I』は、初めて日本語を学ぶ一般の学習者を対象にした教科書です。この教材には、「本冊」「翻訳・文法解説 英語版」とカセットテープがあります。この教材は、文型を積み上げる方法を通して、学習者が短期間に生活上の基本的な会話ができるようになることを考えて構成されています。「本冊」の各課の構成は、「文型」「例文」「会話」「練習」「問題」です。「練習」は文型の定着と会話の練習のために、「問



P 65

題」は各課の復習、まとめに使用します。文型の数は約75、語彙数は約1,060です。「翻訳・文法解説」の各課には、新出語・文型・会話・表現などの翻訳・解説の他に、参考語彙や日本事情の紹介が含まれています。現在は、英語版ですが、今後他の言語の版も出版される予定です。

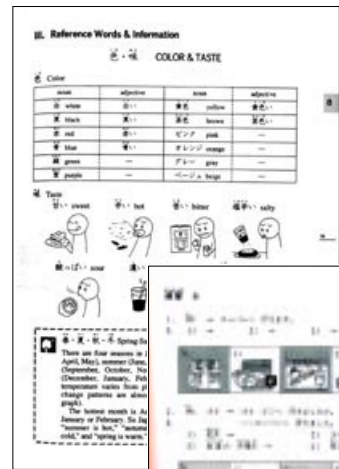
さまざまな利用者のために

この教材は技術研修生のために開発された『新日本語の基礎 I』(以下『新基礎』)の姉妹編にあたり、『新基礎』の特徴とも言える学習項目と練習方法のわかりやすさを残し、また、各課の構成、提出文型も同じです。大きな違いは、技術研修生特有の生活場面、語彙がなくなり、日本人の社会生活を反映させた場面がふえています。『新基礎』では、研修センターを中心に、デパート、郵便局、公園、カメラ屋、レストラン、工場、スキー場、日本人宅、という場面が取り上げられていますが、『みんなの日本語 初級 I』では、中心人物の会社、マンションを中心に、隣人宅、デパート、スーパー、郵便局、レストラン、タクシー、銀行、病院、パーティー、不動産屋と、場面に広がりがあります。これまで『新基礎』を使って一般の学習者に教える場合、教師が語彙や場面の調整をしなければなりませんでした。『みんなの日本語 初級 I』ではその負担が軽くなりました。また、一般の学習者にとっても話題や場面が広がったため、興

味を持って学習を続けることができるようになります。その他、練習でのイラストの活用が多く、練習がわかりやすいという特徴もあります。また、「翻訳・文法解説」に新たに加わった参考語彙と日本事情に関する情報は、語彙をテーマごとにまとめて覚え、話題を広げたい人に役立つでしょう。

豊富な補助教材

この教材は新出の文型の提出課が『新基礎』と同じであるため、次の補助教材がそのまま使えます。『新絵教材』『携帯用新絵教材』(『日本語教育通信27号』参照)、『クラス活動集101』、『新日本語の基礎 I 復習ビデオ』(『日本語教育通信第29号』参照)



P 56



P 41



ビデオを見ながら学ぶ中級レベルのビジネス日本語

『ビジネス日本語会話 課長』

データ

①財世界経済情報サービス(WEIS)

②発売: ジャパンタイムズ、発行:

(財世界経済情報サービス(WEIS))

(〒105 6190 東京都港区浜松町2 4

1世界貿易センタービル/TEL .03

3435 5731 FAX .03 3435 5738) ③

1997年5月27分 6 300円

物語は、佐藤さん一家が4年ぶりに海外赴任から日本に帰国したところから始まります。帰国早々、佐藤さんは課長として本社に着任し、新しいプロジェクトを担当します。会議に出張、残業と、忙しい毎日が始まります。

場面で見えるビジネス日本語

この教材は、佐藤さんの毎日の生活を、ビジネス場面を中心に54の場面に分け、それぞれの場面で用いられる日本語とその日本語使用の背景にある社会的・文化的な事情を学ぶことを目標に作られたビデオ教材です。ビデオは全1巻(27分)で、テキストには付録として音声CDも付いています。

レベルは、基本的な日本語を300~500時間程度学習した中級レベルの学習者を対象にしています。テキストの各課は、

①『場面(モデル会話)』②『解説』③『ク

イズ』④『ティップス』と『コーヒー・ブレイク』(日本のビジネス事情説明)で構成されています。

ビデオを見ながら考える

待遇表現

『場面』のモデル会話の一つ一つの発話には、①男性が使う表現②女性が使う表現③目上の人に使う尊敬表現④目上の人には使えない表現⑤性別や上下関係に関係なくどんな場合でも使える表現という5つの区分が示されています。相手や状況に応じて適切に使い分けをしなくてはならない日本語の待遇表現の用法を確認するのに役に立ちます。

また『解説』には、会話の中で使われている一つの語彙や表現の意味や用法、さらにはそれを理解するために必要な社会・文化的な事情の説明が英文で書かれています。特に、ビジネス場面におけるコミュニケーションの中で、対人関係に強い影響を与える終助詞(「よ」「ね」「か」など)の意味や用法について、詳しい説明があるのが大きな特徴です。

ビデオを見ながら考える

「日本人」

おじぎや頷きなどの非言語行動、呼びかけや「そうか」「なるほど」などの応

答表現、「あっ、そうそう」「よし」などの感嘆表現は、文字教材だけで理解するのはとても難しいものです。この教材では、目と耳でそれらの表現がどのような場面で、どのように使われるのかを確認することができます。文字に頼らずに、画面を見ながら、繰り返し聞いて慣れることを目標に練習すると、効果があがるでしょう。正しく内容が聞き取れているかを確認するためには、『クイズ』が役に立ちます。

また、『ティップス』や『コーヒー・ブレイク』の欄では、日本でどのようにビジネス関係を築き、維持していけばいいか、日本人はビジネスを進めていく上で、どのような考え方をするのかなどが、英語で分かりやすく解説されています。現代日本事情の一面を考える一資料として、活用することもできます。



たまの休日は、家族サービス。日本のビジネスマンに休みはなし(場面番号32)



会議、会議、また会議。ビジネスマンは忙しい(場面番号18~22)



仕事も一段落。みんなでパッと打ち上げた(場面番号44)

pp.16~19は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

木谷直之、木山登茂子、高偉建、坪山由美子、藤長かおる、向井園子

き た に な お ゆ き き や ま と も こ こう い けん つ ば や ま ゆ み こ ふ じ な が ふ じ な が む か い そ こ

文章・談話の研究の参考になる一冊

『文章・談話のしくみ』

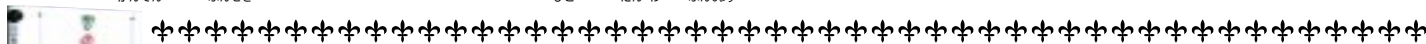
データ

■熊谷智子、佐久間まゆみ、杉戸清樹、
野村眞木夫、半澤幹一、ポリール・ザト
ラスキー 著 図 101 0064
東京都千代田区猿楽町2 2 6 / TEL .03
3295 8771 FAX .03 3295 8778) ■
1997年11月25日 44 273 02942 15 ■
223ページ 62 ,100円

本書は、1990年に出版された「ケース
スタディ 日本語の文章・談話」の入門
書として編集され、日本語の文章・談話
についてより丁寧な解説がされています。
ここでは、複数の文が集まってきて
いる文章・談話をコミュニケーションの
手段として位置づけています。そして、
文章・談話というまとまりにはどのよ
うなきまりがあり、どのようなしくみに
なっているのかをことばのはたらきとい
う観点から分析しています。

全体は3章からなります。
第1章では、コミュニケーションに
おける文章・談話の位置づけとそれがど
のようにして成り立つかを述べています。
第2章では、文章・談話を構成する10
の言語現象「くりかえす」「はぶく」「さ
ししめす」「ひく」「むすびつける」「き
りかえる」「とりあげる」「とりまとめる」
「ととのえる」「かかわりあう」をとり
あげています。例えば、「きりかえる」
という項目では、「文章・談話のある局
面で、それまでの内容からはなれて新た
な内容に移ること」とその概念を説明し、
文章例・談話例をもとにどのような表現
がその役割をになっているのか具体的に
分析し、その形態的特徴と文章・談話上
の働きを明らかにしています。
第3章では、文章・談話を構成する
個々の要素がどのように関連し合っ
て、一つの談話・文章をまとまりのあるもの

にしているのかを述べています。
ある特定の概念を示す用語には、わか
りやすい説明をつけたり、全体を通して
可能な限りやさしい日本語を使うなど、
読みやすく書かれています。
本書は、日本語の文章・談話について
の知識を深めたり、研究したりするとき
の参考になるでしょう。



中・上級者向けの文型辞典

『教師と学習者のための日本語文型辞典』

データ

■砂川有里子、駒田聡、下田美津子、
鈴木睦、筒井佐代、蓮沼昭子、ベケ
シュ・アンドレイ、森本順子 著 図 くる
しお出版 (〒112 0002 東京都文京
区小石川3 16 5 / TEL .03 5684 3389
FAX .03 5684 4762) ■1998年2月
2日 44 87424 154 9 292ページ 6 ■
3 465円

ことばを使いこなすには、その意味、
機能、形式とともに、場面や文脈に応
じた使い方を知ることが必要です。その
すべてに答えてくれるのがこの辞典です。

中・上級表現文型のほとんどを収録

この辞典には、日本語能力試験1・2
級レベルの文法的機能語(「～あげく」
「～かねる」等)を含む3,000項目の表
現が集められていますから、中級レベル

以上で問題となるもののほとんどがの
ついているといつてよいでしょう。また、
「鈴木さんだつけ」の「つけ」のような
話しことば特有の表現も入っていますか
ら、会話表現に興味のある人にとって
も便利です。

わかりやすい用例と解説

各項目の内容は、①形式(文型の構造、
接続形式) ②例文(ルビつき) ③解説
から構成されていて、例文数が多く、使
い方がわかりやすくなっています。また、
解説では、必要に応じて誤用例や類義表
現との使い分けについても触れています
から、間違いやすい点がよくわかります。

充実した索引

「50音順索引」「末尾語逆引き索引」に
加えて「意味・機能別項目索引」もあり、調
べたい文型を見つかるのに大変便利です。

【つけ】

- [N/Na だつた)つけ]
- [A かつた)つけ]
- [V たつけ]
- [...んだつた)つけ]
- (1) あの人、鈴木さんだ(つた)つ
け?
- (2) 君、これ嫌いだ(つた)つけ?
- (3) この前の日曜日、寒かつたつ
け?
- (4) もう手紙出した(つ)つけ?
- (5) 明日田中さんも来るんだ(つ)つけ?
- (6) しまった! 今日は宿題を提
出する日じゃなかつた(つ)つけ。
はっきり記憶していないことを確認する
のに使う。(6)のように自分に確認する
ような気分だけで独り言を言うときにも使う。
ただ話したことば。丁寧体は「N/Na
でした(つ)つけ」「V. ました(つ)つけ」
.. んでした(つ)つけ」となるが、「A かつた(つ)つけ」
という形はない。話しことば。



ジャンル別で見つけやすいカタカナ用語事典

『最新カタカナ用語「読む見る」事典』

データ

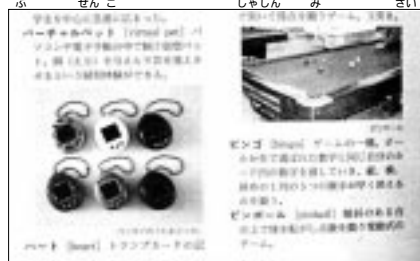
1 講談社 2 講談社 (〒112 8001 東京都文京区音羽2 12 21 / TEL .03 5395 3566 FAX .03 3944 4441) 3 1998年3月2日 4 4 06 269001 2 5 765ページ 6 2 625円

本書は、日常生活に必要な基本用語に加え、新聞やテレビなどで目にする専門語や流行語を選び、収録したカタカナ語事典です。全体で約11,000語が収められています。

関連した用語がまとめて読めるように、全体は、食、衣、住、健康、社会、政治、経済、文化、音楽、自然、科学、技術、交通、スポーツ、人間という15のジャンルに分けて編集されています。見出し語の理解を助けるために、解説のほかに写真やイラストが多く掲載されています。また、ジャンル別の索引のほかに、五十

音順でもさがしたいことばを見つけることができるようになっていきます。最後に欧文の略語も集められています。

「ジャンル別」というこの事典の最大の特徴を活かして何ができるでしょうか。たとえば「プリント倶楽部」ということばを調べるとしましょう。五十音順で調べても出てきますし、「娯楽」というジャンルで調べても出てきます。ですから、「プリント倶楽部」ということばを正確に覚えていなくても、そのことばの属するジャンルさえ知っていれば、見つけることができます。また、「プリント倶楽部」の前後のことばや写真を見ると、最



近はやっている「たまごっち」や、昔はやった「インベーダーゲーム」なども載っています。ですから、一つのことばにとどまらず、それと関連のあることばも知りたいという人にも便利です。

なお、見出し語には原語のつづりもついており、また、日本で作られたことばには「和製語」という注記があるので、もとのことばとの関連が分かります。

本書にはルビがついていないので、漢字力の弱い学習者には不向きです。

P 207



P. 208



日本の最新事情がわかる

『時事ニュースワード1998 - 1999』

データ

1 時事通信社 2 時事通信社 (〒100 0012 東京都千代田区日比谷公園1 3 / TEL .03 3591 1111 FAX .03 3592 1086) 3 1998年2月5日 4 4 7887 9803 4 5 351ページ 6 1 ,155円

本書は、1997年から1998年にかけての一年間に日本と世界で起こった重大な出来事や社会の動きを表す用語を集めて解説したもので、170の話題と約400項目の基本用語とが収められています。

全体は、「国際情勢」、「政治・地方自治」、「経済・労働」、「情報・通信」、「科学」、「地球・環境」、「社会」、「暮らし・医療」、「教育」、「スポーツ」、「文化」の11の分野に分けられています。分野ごとの構成は、初めに、一年間のおおきな流れを概説し、次に、ニュースとなった主要な話題を取りあげ、その内容と主な論点

を解説しています。そのあとに、個々の基本用語の解説が続きます。また、本の最後には、話題になった人物の紹介も載っています。

例えば、「経済・労働」の分野では、「景気低迷」、「円安誘う」、「日本版ビッグバン」など32の話題と、「赤字国債」、「大店法」など50の基本用語が載っています。また、「社会」の分野では「神戸小学生殺傷事件と少年法」、「オウム真理教問題」、「文化」の分野では「たまごっちフィーバー」、「ポケモン」、「若者言葉」というように、社会問題となった事件や流行事情なども取りあげられています。

この本の特色は、各分野の時事用語や、新語、流行語などの意味がわかるだけでなく、それらの用語やニュースの話題についての解説を通して、社会の最新の動きや変化を読みとることができることです。

この本は、新しい用語や日本の最新事情を調べるために使えるほか、上級者向けの読み教材としても利用できるでしょう。



INDEX	
A-X	32
Y-Z	34
索引	36
あ	38
か	40
き	42
く	44
け	46
こ	48
さ	50
し	52
す	54
せ	56
そ	58
た	60
ち	62
て	64
と	66
な	68
に	70
の	72
は	74
ひ	76
ふ	78
ぶ	80
ま	82
み	84
め	86
も	88
む	90
ふ	92
や	94
ゆ	96
よ	98
ら	100
ろ	102
る	104
り	106
る	108
り	110
る	112
り	114
る	116
り	118
る	120
り	122
る	124
り	126
る	128
り	130
る	132
り	134
る	136
り	138
る	140
り	142
る	144
り	146
る	148
り	150
る	152
り	154
る	156
り	158
る	160
り	162
る	164
り	166
る	168
り	170

P. 3 4 3



P. 2 4 6